

No 03

Example Report

Builder /
Archi Airs

Note /
南信地区 H邸
家族構成 4人

四季の風景と庭、

家族がつながる家



A_中央アルプスとその前山を背景に立つH邸。広い敷地の奥に寄せて建物を配置。手前に家庭菜園をつくり、駐車スペースも4台分確保した。外壁は県産材のスギ板張り。 **B**_建物西側の裏庭から屋内を見る。階段の向こうの大きな窓には南アルプスの山々が映っている。 **C**_土間は庭のある屋外と室内をつなぐ役割をする。半分内で半分外、その曖昧さが日々の暮らしに豊かさをもたらす。



庭とつながり
2つのアルプスと四季を
感じながら暮らす

伊那谷では、南アルプスと中央アルプスの2つが見晴らせます。「谷」の名を負ってはいいても、両アルプスと天竜川がつくった盆地はゆるやかな段丘をなしな

がら東西に広がっていて、その伸びやかさもアルプスの景観とともに近年移住者が増えている理由でしょう。

県内の他地域で暮らしていたHさん家族は、自然が大好きな子どもたちのために、外で思いきり遊ばせてあげられる環境を求めて、ご主人のふるさとで家を建てることにしました。

初めに相談した工務店が決め手に欠いて悩んでいたところ、奥様がネットで見つけたのがアイキエアーズでした。そして、長野の展示場へ足を運んだご主人も、そのコンセプトや家の雰囲気すっかり魅了されます。家づくりをどこに任せるか、もう迷いはありませんでした。

「庭とつながり、四季を感じながら暮らしたい」という要望を受け、同社が探し当てた土地と提案したプランには、「ここなら一生暮らしていけそうだ」と思わせる力がありました。

家の特徴として、まず挙げたいのが土間です。大開口を備え南北に長い土間は、LDKとウッドデッキ、その向こうの庭の畑をつなぎ、視線を南アルプスの眺めへと誘います。中央アルプス側にも大きな窓を設け、土間デッキを介して裏庭へ出る開口を確保。南窓と合わせ、こちらは里山の季節の移ろいを味わうための仕掛けです。



D_南・東・西に大きな窓を設けた、LDKから四季の風景を楽しめる住まい。隣家は少し離れているため、周りの視線を気にせず過ごせる。 **E**_造作のキッチンカウンターは夫妻のお気に入り。床はアーキエアーズの展示場を見て惚れ込んだチーク材を選択。玄関はあえて設けず、土間がその役割を兼ねている。 **F**_LDKは折り上げ天井にして間接照明を効かせた。一方、土間部分の天井はクロス張りにし、木をベースにした空間とトーンを変えている。 **G**_玄関を入って右側に、シューズクローク、パントリー、ファミリークローゼット、脱衣室、LDKをぐるりと回れる回遊動線がある。 **H**_床と同じチーク材を使ったウッドタイルはご主人のアイデア。素朴な温かみが家族やゲストを出迎えてくれる。



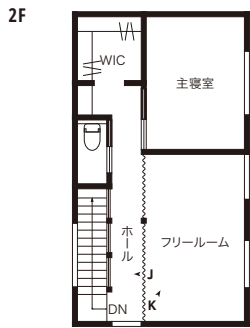
ここに暮らして3年目。
ますますこの家が好きになる

土間の前の畑では奥様が食卓にのせる野菜を育て、西窓の向こうの土間デッキでは里山を渡る風を感じながらご主人が読書とコーヒーを楽しみます。そこへ田んぼで捕まえた虫にはしゃぐ子どもたちの声が響いてきます。晴れた日の休日は外で家族一緒にの食事を楽しむほか、節分やソリ滑り、花火、バーベキューなど、家でする季節の行事が増えました。キッチンの造作カウンターでお菓子づくりが始まると子どもたちが手伝ってくれます。四季の織りなす風景や庭とつながる家は、家族の一体感も深めてくれたようです。

でも、どんなに周りの自然を身近に感じても、その心地よさは山小屋とは一線を画します。冬暖かく、夏は涼しい快適性、玄関からキッチン裏を通る収納たっぷりの回遊動線、階段下の学習兼書斎スペース、木の温かさを伝えながらノーメンテナンスで経年変化を味わえる外壁など、日々をストレスなく合理的に過ごす工夫がコンパクトな空間に詰め込まれています。

この家ができて3年目。「ますます愛着が湧き、この家が好きになる」とHさんは話します。そして、一日の仕事を終えて家路につき、車からわが家の灯が見えたとき、「いい家だなあ」とつぶやくそうです。この住まいと、この家族のもとへ帰ってきた幸せを思いながら。





PLAN

DATA

敷地面積	499.50㎡ (150.80坪)
延床面積	93.16㎡ (28.12坪)
1F面積	55.89㎡ (16.87坪)
2F面積	37.26㎡ (11.25坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：3.5・4寸角スギ、土台：3.5寸角ヒノキ 断熱材／屋根：硬質ウレタンフォーム220mm、壁：高性能グラスウール105mm・付加断熱ネオマフォーム45mm、基礎：押出式ポリスチレンフォーム100mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：県産スギ板張り 主な内装仕上げ／天井：クロス・マホガニー合板、壁：クロス、床：チーク・あづみの松 開口部／トリプルガラス キッチン／永大 ラフィーナネオ キッチン熱源／ガスコンロ バスルーム／タカラスタンダード リラクシア 暖房の種類／床下エアコン C値／0.38 UA値／0.23



M

Comment

Owner: Hさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A 庭をはじめ屋外環境と屋内環境がつながること。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A 許される限り窓を大きく取ったこと。自然と物が片付く収納力のあ
る回遊動線。キッチンの造作カウンター。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A 要望を上回る提案力。コンシェルジュ今井さんへの信頼の高さ。
「Long Loved Design」への共感です。

Builder: コンシェルジュ／今井 雄介さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

A 伊那谷の景観や四季の移ろいを日々の暮らしに取り入れること。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A LDKと南アルプスと中央アルプスの景色をつなぐ土間。玄関
からパントリーへ至る回遊動線。四季を感じる大きな窓。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A ご家族様にとって、永く愛せるマイホームを実現することです。



I_階段下は学習兼書斎スペース。勉強に疲れたら外の景色を見て目を休められる。集中
したいときは左側の壁に面した机に向かう。 J_2階の窓からの眺めもいい。窓ガラスを
指さし、「これ、鳥がぶつかったアトだよ」と兄弟が教えてくれた。視線の抜けの良さに鳥も
驚いたに違いない。 K_現在フリールームとして使うこのスペースは、兄弟の成長に合わ
せて将来、子供部屋として仕切る予定。 L_キッチンはステンレスの素材感を生かすこと
で、ウッディな空間に引き締まった表情が生まれた。もちろん掃除もしやすい。 M_中央ア
ルプスと天竜川がつくった段丘の上にあるH邸。同じ市内に住むご主人のご両親も、市街
地を見下ろし、南アルプスを仰ぐこのロケーションに感嘆したという。